

みどりの地球をみどりのままで、子どもたちへ

vol.290 7月号
2025年7月21日発行



グリーンたいむ

発行:グリーンコープ生活協同組合くまもと
<https://greencoop-kumamoto.jp/>



2025年度スタート！

6月6日(金)に開催したグリーンコープ生協くまもと第二十五期通常総代会を経て、2025年度がスタートしました。理事長、ワーカーズ常勤理事会代表、専務理事よりメッセージをお届けします。

「2027カーボンニュートラル」の取り組みにつきまして、多くの方にご理解とご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。これからも、みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるように取り組んでまいります。

今年7月は令和2年7月豪雨から5年、2026年4月は熊本地震から10年になります。復興の歩みを振り返り、あの災害の経験を次の世代にも引き継げるような集会を開催したいと思います。

今年度も、さまざま取り組みをご案内いたします。皆様のご参加を理事・委員一同お待ちしております。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

グリーンコープ 生協くまもと 理事長 小林 香織

2025年度は、「2027カーボンニュートラル」が本格的に始まる年になります。カーボンニュートラルについては、身近に感じ、そして今を生きる私たちが次世代につなぐ行動が求められるようになります。「この問題『無関心』ではいられても、『無関係』ではない」という言葉に、私は共感しています。このことをたくさんの方に伝えたいと思っています。そして、「グリーンコープミルクびん牛乳工場」「TM Rセンター」「耶馬渓ファーム」のこと、たくさんの方に知っています。グリーンコープのびん牛乳をたくさんのお組合員さんに飲んでいただきたいと思います。

くまもとワーカーズ 常勤理事会 代表 石原 嘉美

第二十五期通常総代会が終了し、全議案、可決承認いただきました。本当に、ありがとうございました。单協総代の皆さんからさまざまご意見、ご感想をいただき、身の引き締まる思いで、2025年度も引き続き、専務理事の大役を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。さて、2025年度は引き続き「2027カーボンニュートラル」「共生・循環型酪農プロジェクト」と大きなグリーンコープ運動が具体的に展開されていきます。

詳細につきましては、「グリーンたいむ」などの機関紙にてご報告させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

グリーンコープ 生協くまもと 専務理事 上村 猛

もくじ

- 1 : 2025年度スタート！ / 2 : 東地域本部地域総代会報告 / 3 : 西地域本部地域総代会報告 / 4 ~ 5 : 第二十五期通常総代会報告 / 6 : 令和2年7月豪雨災害支援活動報告 / 7 : わたしとグリーンコープ、こんにちは！ワーカーズです、2027カーボンニュートラル / 8 : みんなのひろば、グリーンコープでんき関連、電話コーナー、リユース・リサイクル状況、編集者だより

グリーンコープ



グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



© 2010 くまモン

西地域本部 第二十二期地域総代会 5月19日(月) 熊本市国際交流会館



第1部 地域総代会

総代定数および出席人数…定数154、出席46、委任状98
提案された議案すべてが可決されました。
地域本部および各委員会からの報告を抜粋して紹介します。



森田弓沙地域理事長

[地域本部] 2022年に2地域本部制になつて以降行っていたハイブリッド開催を終了し、本部会議室にて地域理事会を開催することで、しっかりと時間を取つて十分に議論ができるようになります。2023年度より一時ストップしていた、みんなの居場所プロジェクトを立ち上げ、居場所の視察や立ち上げまでの話を聞くことを主な活動としました。その他、理事会として、料理交流会や産直交流を行いました。天草地域委員会から出された「天草に準地区を作りたい」との夢を、西地域本部全体の夢と位置づけ、上天草でのまつり開催を検討しましたが、台風のため2024年度内の開催はできず、2025年度4月の開催となりました。



2024年度は地域理事長が交代して1年目でした。エリアがとても広い西地域本部ですが、6人の地域委員長と4人の専門委員長とで協力し合いながら、地域理事会を運営できました。これからも、委員会メンバーが自分の言葉で伝えられるよう、学習会や視察を通して、利便普及に取り組んでいきたいです。

[福祉委員会] 地域福祉について学習や意見交換することで委員会についての課題を知り、「ふくしだより」を発行することができました。環境委員会として担う運動を多くの人に広め取り組むことで、大きな力になると思います。

【商品おすすめ委員会】商品おすすめ委員会

【環境委員会】6人の地域委員長より活動報告

【商品おすすめ委員会】食べ物の運動の象徴である産直びん牛乳、

りんご・みかん、米の学習会で、定期予約や早期予約の大切さの確

認ができ、利用普及の大切さを学びました。これからも、委員会メ

ンバーが自分の言葉で伝えられるよう、学習会や視察を通して、利

用普及に取り組んでいきたいです。

[環境委員会] 地域福祉について学習や意見交換することで委員会の

つながっています。環境委員会として担う運動を多くの人に広め取り組むことで、大きな力になると思います。

東地域本部 第二十二期地域総代会 5月9日(金) 熊本県立劇場



第1部 地域総代会

総代定数および出席人数…定数110、出席32、委任状65
提案された議案すべてが可決されました。
地域本部および各委員会からの報告を抜粋して紹介します。

[地域本部] 2024年度は、地域委員会や地区でもたくさんの取り組みを行いました。参加してくださった方からは「楽しかった」「ためになつた」と言つていただきました。ことができました。さまざま取り組みや活動を通して、グリーンコープについて、しっかりと伝えられたのではないかと思います。地域本部のまつりも、今までとは趣向を変え、お買い物するだけではなく、グリーンコープの商品のことをしっかり知って、納得してもらえる場になりました。

[商品おすすめ活動委員会] 待望の離乳食が登場し、仲間づくりの強い味方が増えました。びん牛乳をはじめ、私たち組合員が「欲しい」と願い生まれた商品の数々を次の世代へと渡すために、組合員の継続した利用はとても大切です。活動委員一人ひとりが、その思いを地域に伝えていきました。

[福祉活動委員会] 「住んでる街を、住みたい街に」していくために、行政では手が届かない部分まで垣根を越えて取り組む中で、初めて知る情報などがありましたが、その度に活動委員会で学びを深めていきました。

[環境活動委員会] 活動委員が自分の言葉で伝えることを大切にしました。一見、別々のようを感じる運動も根底ではつながっているということを、委員会活動を通して何よりも深く感じることができました。

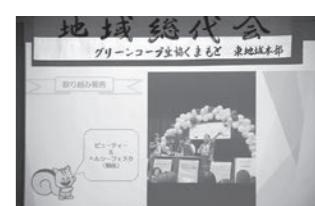
【質疑応答】一部分を紹介します。

Q、「ゆるりの家」や、「げんきもりもりハウス」は、組合員のみが利用していますか？

A、組合員とは限らず、幅広く利用されています。

Q、石川県の支援には何日間ぐらい行かれたのでしょうか？

A、東地域本部から2泊で行きましたが、常駐が1人いて、ホームページやインスタグラムで支援活動の様子が分かるようになっています。カンパへの協力を継続してお願いしています。



【地域理事長挨拶】

地域理事長も、2025年度で5年目となります。地域理事会のメンバーをはじめ、地区的委員さんや地域の組合員さんと共に楽しく活動を行っていきたいと思っています。

かとずっと考えていました。ちなみに今年の干支は巳年、乙巳（きのとみ）という年で、これまでの努力や準備が実を結び始めます。

今年は新しい牛乳工場が稼働し始め、グリーンコープの牛乳が新しく生まれ変わりました。また、5月からカーボンニュートラルの取り組みも本格的に始まります。この数年間は、牛乳とカーボンニュートラルのことについて理事会などでもたくさん意見交換し、いろいろなことを一つずつ決めきました。それらのことが、まさに実を結ぶ年になるということなんだと思います。

昨年の「変化を楽しむ」から一步前進し、「飛躍・発信」できる年にできたらと思いますので、皆さんのご協力とご支援を、どうぞよろしくお願いいいたします。

[質疑応答] 一部分を紹介します。

Q、産直びん牛乳のことだが、大分との交流ができるのはありがたいが、菊池でできなくなつたことの理由を知りたい。

A、雪印メグミルクで製造してもらつていうが工場の老朽化もあり製造できないと言われた。同時にびんも作れないということになり新しいところを探した。「TMRセンター」「グリーンコープミルク」「耶馬渓ファーム」と、「新しい産直」が実現でき下郷農協と手をつなぐことになった。Q、「共生の時代」1月号に詳しい経過が書かれていて今の説明もあつたが、1億5千万円の被害が発生したということで、供給停止も驚いたが被害額の大きさに驚いた。どう責任は大きいと思う。猛省していただきたい。二度と商品供給ができなくなるような事態にならないようにしてほしい。グリーンコープを頼りに生活している組合員を裏切らないでほしい。グリーンコープを信頼して利用している組合員に背かないような組織運営をしてほしい。

A、現在グリーンコープの職員もグリーンコープミルクびん牛乳工場に常駐して正規の牛乳が届けられるように努力している。部長がきちんと「報・連・相」ができるよう組織の再編に取り組んでいる。見守つてほしい。

誇れるびん牛乳を作つていただきたいと思っています。今後も状況について報告していく

スクリーンで観ました。この内容も分かりやすく、株元地域理事長や児童牛乳工場」の動画、「無年だと言われているそうです。

第2部 グリーンコープのこれからについて

常温で保存できるので、常備食として。また、アットホームな利用など)



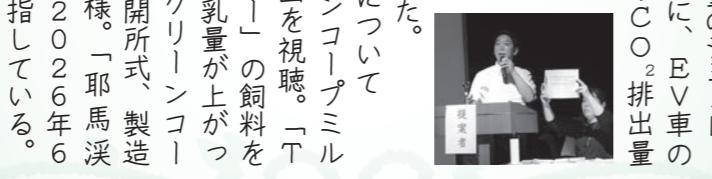
第2部 グリーンコープのこれからについて

離乳食が登場したことを持った2024年9月のテレビ映像をはじめ、「共生・循環型酪農プロジェクト始動！」と題して、2024年9月に稼働を開始した「TMRセンター」や、2025年3月に稼働し始めた「グリーンコープミルクびん牛乳工場」の動画、「無年なくできるカーボンニュートラル」の動画を発表しています。ちなみに今年の干支は巳年、乙巳（きのとみ）という年で、これまでの努力や準備が実を結び始めます。

さて、私は毎年ここで地域本部のテーマを発表していますが、今年度はどうしようかとずっと考えていました。ちなみに今年の干支は巳年、乙巳（きのとみ）という年で、これまでの努力や準備が実を結び始めます。

第2部 グリーンコープのこれからについて

*「2027カーボンニュートラル」について①グリーンコープで作成しているCMを3本視聴。②2021年度と2028年度とを比較してのCO₂排出量のシミュレーションを基に、EV車の導入によりCO₂排出量を大幅に減らすことになります。また、アットホームな利用など)





地球温暖化・気候危機などの課題に対して、また、すべての生命^{いのち}を守るために
「2027カーボンニュートラル」を推進していきましょう

グリーンショープ生活協同組合くまもと 第三十五期通常総代会開催 6月6日(金)くまもと森都心プラザ



◆2024年度活動報告について◆

◆質疑応答より◆

Q. EV車の問題点として、EV化のためにレアメタルの採掘がアジアやアメリカで行われ、現地の環境破壊や人権侵害などがあります。グリーンコーポの配運用トラックなどのEV化はできればやめてもらいたいです。

A. 同様の質問に対する応答は、2023年に「カーボンニュートラルQ & A」として届けています。組合員がどう考えるかについては、グリーンコーポ共同体で確認されたことで、今動き出しているかと対して、間違っているかどうかではなく、どうすすめていくのかを考えてほしいと思します。温暖化についても諸説ある中、グリーンコーポとして選んだ方向で行っています。食べもの運動と同じで、いくことが大切だと思います。

Q. EV車はパソコンや携帯電話と比較してバッテリーなどの規模は桁違います。また、グリーンコーポの理念であるアジアとの連帯に反すると思います。※ IPCCの資料だ

けではなくもつと検証する必要があると思います。

A. カーボンニュートラルの取り組みについて確定する前に、なぜその話が出てこなかつたのでしょうか。また、すでに話し合って確認される内容も多いようです。今、グリーンコーポがどうにかしないといけないことに、グリーンコーポとしてしっかりと取り組んでいかなければならないと考えています。地域組合員総会の資料では偏つて見えるかもしれません、さまざまなお話を聞くなど、学習会を重ねてきてることをお伝えしたいと思います。

Q. カーボンニュートラルをすすめるための財源拠出について、一律に1%を拠出するのではなく、賛成する人が注文書で寄付する形にしてはいかがでしょうか。

A. まずは、組合員が混乱しないよう、1%の拠出を行いたいと思います。その後、「もつとしたい」「1%はできないが少しなら」という方のために、注文書で募ることを

- * 託送料金訴訟について、第二審の結果と今後のすすめ方を報告。
- * 新びん牛乳工場について、稼働する様子を動画を用いて紹介。利用普及を呼びかけた。
- * 2027カーボンニュートラルについて、インドネシアの現状を紹介。くまもとの取り組みの進捗状況を報告。

採決

総代定数 260、本人出席 142、委任出席 118

議案	賛成	保留	反対
第1号議案 2024年度事業（活動）報告及び決算報告承認の件	多数	13	2
第2号議案 2025年度事業（活動）計画・予算案承認の件	多数	27	10
第3号議案 2025年度福祉活動組合員基金運用委員会委員選任の件	多数	0	0
第4号議案 2025年度役員・選挙人選出の件	多数	3	0
第5号議案 長期未利用組合員脱退承認の件	多数	1	0
第6号議案 議案効力発生の件	多数	1	0

提案された議案は、すべて賛成

A circular portrait of a woman with dark hair, wearing a white top, speaking into a black microphone. The background consists of vertical grey stripes.

グリーンコープ
協くまもと理事長

この経験を、今後の利用普及やグリーンコープ運動を広げる活動に活かしていきます。

2024年7月に開催した「リーン交流会」は、委員などの方や委員になりたい方を招待し、協くまもと理事長小林香織さんによる講演に、お話を聞いたところです。



◆2024年度事業報告について◆

予算比99・9%で終了。
組合員拡大に関しては予算に対しても達成率は69・7%。地域からの問い合わせが減少したこと、現場を担う配達担当者が減少し拡大が思うようにできなかつたことなどが原因で厳しい結果となりましたが、組合員、ワーカーズ、職員の力を結集し、3,380人の新たな組合員を迎えることができたことは、評価できると考えます。また、お店共同購入事業は全体的に好調で推移しました。

A black and white portrait of a middle-aged man with a shaved head and glasses, wearing a striped shirt. He is looking slightly to his left.

理事

算に対しても達成率は69・
から問い合わせが減少したこ
担当者も配達担当者が減少し拡大が
できなかつたことなどが原因で
となりましたが、組合員、ワーネ
員の力を結集し、3,380人
合員を迎えることができたこと
きると考えます。また、お店共
は全体的に好調で推移しました

後集会を開催したいと思います。

に触れました。人と人とのつながりの大切さや、そこから生まれる助け合いやお互い様という経験は、くまもとにとって大きな力になっています。これまでの支援やつながりに感謝を伝える、10年後集会を開催したいと思います。

◆2025年度事業計画について◆

カーボンニュートラル学習会を開催。

カーボンニュートラル学習会を開催。海面上昇が起こった時の熊本のシミュレーションでは沿岸部がほぼ海に沈んでおり、これまで以上に自分事として捉える機会となりました。

◆2025年度活動計画について◆

◆2025年度活動計画について◆

わたしとグリーンコープ

「グリーンコープ商品の美味しさ」

西地域本部
鹿本地域委員会
山鹿地区運営委員会
委員長 下田 佳子

グリーンコープとの出会いは、1人目が生まれて、離乳食の頃に「赤ちゃんすくすく個配」を知ったことです。「安心・安全で美味しいものを子どもに食べさせたい」と思い、それから食について考える時間になりました。

それまで添加物など全く気にしていなかつた私は、活動委員として学ぶことで初めて知ることがたくさんありました。活動の時は子どもたちと一緒に、楽しい時間になりました。

活動の時は子どもたちと一緒に、楽しい時間になりました。

グリーンコープの商品のこと、生産者さんのこと、たくさんの方に知りたいです。

こんにちは！ワーカーズです

企業組合
ワーカーズ・マミー

荒尾店 店長 竹谷 幸

私がグリーンコープと出合ったのは、今から30年以上前になります。当時、自宅のポストにカタログとお手紙が投函されており、食に興味があつた母と私が申し込みをしたのがきっかけです。わくわくした気持ちで注文を増やし、毎週楽しみにしておりました。

その後、結婚し子どもが生まれ、「この子には美味しいと安心・安全な食品を食べさせたい」という気持ちで、近所の友人と班配達を始めました。毎週、ノンホモ牛乳を3本、10個入りの卵を2パック、あらびきウインナー徳用を1袋の注文を欠かさず、配送の車を楽しみに待っていました。

その後、グリーンコープのお店で働き出し、組合員の方々と出会い、商品をおすすめし、今までいました。多くの方に励まされ、幸せを感じ、この気持ちが広がるよう頑張りました。

2027カーボンニュートラル

今、私たちにできることを全力で取り組みたい

グリーンコープのカーボンニュートラルは、2027年までに車両から排出するCO₂を2021年比で約85%削減、また、輸送時に専用保冷箱や蓄冷剤を採用することでドライアイスの使用を極力減らし、その排出量を削減します。それでも減らせない分は、植林など森林による吸収によって排出量ゼロを目指すこととしています。東地域本部（東部・北部センター）では、今年度内に遠隔地を除く全車両をEV車に切り替える準備を現在進めています。組合員の皆さんもグリーンコープ商品を利用することで、また、袋やびんなどのリユース・リサイクルを通して、既にこのカーボンニュートラルに参加しています。グリーンコープは現在の地球温暖化という課題に対して、一人ひとりの力は小さいけれど「今、私たちにできることを全力で取り組みたい」と考えており、みんなでこの課題に取り組むことで社会を、そして未来を変える力にもなると私は信じています。

東地域本部 地域専務 岩間 瞳幸

令和2年7月豪雨 災害支援活動報告



2020年7月4日(土)未明から降り続いた大雨の影響で、熊本県南部を中心に各地で土砂崩れが発生。また、1級河川の球磨川が上流から下流までほぼ全域で氾濫し、球磨村や芦北町、人吉市、八代市の広域で被害が発生しました。グリーンコープは発災直後から支援活動を続け、5年後になる現在は、ワーカーズコレクティブヒトハレのメンバーが、「元気力ー」による見守りを兼ねた買い物支援を行っています。5月からは、球磨村からの要請により配達エリアも増やし、地域になくてはならない存在となっています。ヒトハレ代表の御園豊子さんに現在の様子をご報告いただきました。

今年3月、球磨村での移動販売を担っていた業者の1社が撤退するという話を、「元気力ー」のワーカーが利用者さんから聞いてきました。住民の皆さんに不安に思われているということを聞き、グリーンコープ生協くまもと本部に相談してみたところ「ヒトハレの体力で可能な範囲なら販売箇所を増やすのはかまわない」という返事をいただきました。

球磨村との協議は4月末に行われ、球磨村としても、決して良い条件とはいえない移動販売を引き継いでもらえるのか不安に思われていたようでした。しかし、ヒトハレとしては、「グリーンコープからは前向きな返事をもらっている」ということを伝えることができたため、先方も安心され話をスムーズに進めることができました。協議の結果、移動販売の空白地区になってしまった4地区を、ヒトハレともう1社で分け合って引き継ぐという話がまとまりました。

5月20日(火)から販売を始める大坂間地区には、事前にポスティングに伺ったところ、キープの組合員さんが住んでおられ「地区の人に話をしてチラシも渡しておく」と言ってください、販売初日はたくさんの方が集まってくれました。以前の業者さんからは1軒ずつ回る必要があると聞いていたのですが、地区内の2ヶ所に集まってくれるように組合員さんが話をまとめてくださっていました。「ここまで来てくれる方はグリーンコープくらいたい」と言っていただき、約2ヶ月間移動販売なしで生活されていただけに、とても歓迎されていることが感じされました。

木曜日に販売を行うことになった沢見地区は、往復すると1時間くらいはかかるてしまう、かなり険しいルートですが、その途中にある浦野地区も「どうせ通るのだから販売に寄ってみたらどうか」とワーカーからの提案もあり、球磨村に相談したところ「ぜひお願いしたい」ということで寄ることになりました。大坂間の帰りにも新たにご希望のあった向淋地区にも立ち寄るようになり、一気に4ヶ所販売地区が増えました。

豪雨災害からは5年が経ちますが、さまざまな事情で移動販売が必要とされている方は「まだまだいるんだ」ということが今回わかり、この活動を続けられていることの意義を感じることができました。



▲木曜日に訪問し始めた地区での販売の様子▶



